

# NEWS LETTER



京都教育大学 Kyoto University of Education 第37号(2018. 1. 22)  
附属教育実践センター機構 Organization of Educational Research and Practice Centers  
教育支援センター Educational Support Center <http://cert.kyokyo-u.ac.jp/>

## 「学校が元気になるファシリテーター入門講座」(講演会)を開催しました

教育支援センターと教職キャリア高度化センターが共催し「学び続ける教員」を養成・支援するための講演会を12月1日(金)に開催しました。

講師に株式会社ひとまち代表取締役のちよんせいこ氏をお迎えし、講演タイトルは「学校が元気になるファシリテーター入門講座～主体的・対話的な深い学びを育む～」として、アクティブ・ラーニングが注目されている今日、子どもたちの主体的・対話的で深い学びを引き出すための工夫についてご講演いただきました。当日は、京都府・京都市の現職の先生方をはじめ、他府県の先生方にもご参加いただき、本学の学生・院生、教職員なども含めると、およそ70名の参加者が藤森キャンパス内に集いました。

まず、参加者同士の交流を通して教室に「温かいコミュニケーション」を育むことの重要性をお話いただき、好きな食べ物やスポーツ、出身の都道府県などを、実際にホワイトボードに書く活動などを通して、学校の教室においても子どもたちのなかに「小さな会話」ができるような工夫をすることの大切さが示され、ホワイトボードを用いることで互いの意見を可視化し、互いの意見を承認しあう関係づくりを進めていくことができることを示唆されました。また、ファシリテーターとは「集団をすすめていく進行役」を意味し、参加している人々が話をしたくなるようなプロセスをつくっていくことがファシリテーターの役割であり、教師も子どももホワイトボードを用いたり、質問の仕方を工夫したりすることで、ファシリテーターとして成長していくことができるということを、具体的な実践事例も踏まえてお話いただきました。

ちよん氏の『『日常のコミュニケーション』が大切であり、子どもたちの『心の体力』を温めることのできるような関係をつくること、そして、そのための工夫を重ねていくことが重要だ』という言葉はとても印象に残るものでした。参加者からは、「とにかく楽しかったです」、「ホワイトボードを使った取り組みは、意見の可視化、承認欲求を満たすなど、とても効果的だなと思った。もっとこういった講義が大学の授業であってほしい」、「生徒・児童だけでなく大人の承認欲求を満たすことができる方法で、とても納得し、感動した」、「リーダーシップの新しい形を学べました」、「一人一人が輝ける活動ができると良いなと感じました」などの感想が寄せられました。

## “性と生”に学ぶ「人権に基づく性教育」シリーズ (第4回 ご報告)

テーマ：思春期男子に伝えたい“性と生”

講師：辻奈由巳さん(高校養護教諭・大学院生)

平成29年11月18日(土)午後

京都教育大学教育支援センターで例会を開催しました。男子高校で養護教諭をしながら大学院生として性教育について研究する辻奈由巳さんに模擬授業をしていただきました。学生(13名)と教育関係者(10名)がバランスよく参加し合計23名の参加者となりました。

辻さんの「伝えたい!」という思いがあふれる授業には、「性ってなに?」「男性のからだのつくり」「射精とそのイメージ」「セルフプレジャー」「性交」「コンドームの使い方」「女性の悩み、月経痛」…とたくさんの内容が盛り込まれ、グループで話をしたり、発表したり…とその展開も工夫されたものでした。参加者からは「この授業で男性のからだについて知ることができました」という感想が述べられたほどの充実した内容でした。

## 大学訪問について

11月 1日(水)	小浜市立小浜小学校	6年生	23名	学生ボランティア	8名
11月 7日(火)	京都市立大枝中学校	3年生	13名	学生ボランティア	2名
11月 8日(水)	京都市立音羽中学校	2年生	24名	学生ボランティア	4名
11月 9日(木)	広島県英数館中学校	3年生	3名	学生ボランティア	1名
11月10日(金)	京都市立九条中学校	3年生	6名	学生ボランティア	1名
11月29日(水)	敦賀市立栗野中学校	2年生	40名	学生ボランティア	6名

## “性と生”に学ぶ「人権に基づく性教育」シリーズ（第5回 ご案内）

テーマ：医療の現場から伝えておきたいセクシュアリティ  
～より健康で幸せな性と生を実現するために～

講師：早乙女智子さん（産婦人科医）  
京都大学大学院医学研究科客員研究員、倅生会身原病院産婦人科医  
性と健康を考える女性専門家の会会長

日時：平成30年1月22日(月) 16:20～17:50

場所：京都教育大学 附属教育実践センター機構棟2階 未来教室対応・高度化授業研究室

内容：今回のセミナーは著名な産科医、早乙女智子さんをお迎えします。早乙女先生は医療だけでなく著書・講演で日々、性と向き合って大活躍されておられます。教員や教員志望の学生・院生、性に関わる全ての人に知ってほしい性と生（セクシュアリティ）について、早乙女先生に縦横に話してもらいます。

## スクールパートナー研修連携「学生の自主的な教育支援グループ活動」交流会大学訪問について

平成29年12月3日(日) 奈良市東市小学校において「学生の自主的な教育支援グループ活動」の交流会が開催されました。この交流会は平成27年度に第1回が開催され、京都教育大学の学生ボランティア「ありんこクラブ」(京都市立南大内小学校)の活動に奈良教育大学の学生と大阪教育大学の学生が参加し、それぞれの活動についての交流会が開かれたのが始まりでした。今回は3回目の開催となり、午前中京都教育大学の学生代表から本学における活動報告を行い、午後からは「AI」という「肯定的な問いかけや対話」に関するワークショップに参加しました。

## 幼児教育専攻学生による board deco

機構棟玄関正面の貼り絵は、季節とともに変わります。かわいらしい貼り絵を見に来てください。



「サンタ列車がやってきた」



「楽しいお正月」

### 教育支援センター

センター長／モラル・人権意識向上教育部門  
教育実践連携部門  
実地教育部門／就職・キャリア支援部門  
実地教育部門／就職・キャリア支援部門  
実地教育部門／就職・キャリア支援部門  
実地教育部門（兼任）

関口 久志	075-644-8326	sekihisa@
樋口とみ子	075-644-8337	tomiko@
西井 薫	075-644-8806	kaoru@
岡田 敏之	075-644-8214	okada@
飛田 祥	075-644-8216	tobita71@
小山 宏之	075-644-8281	koyama@

ボランティアオフィス 075-644-8336 (月～水・金 10時30分～13時30分、木 10時30分～14時30分) sien@

学校運動部活動指導者育成室 075-644-8143 (月～金 10時～13時 14時～15時) bukatsu@

事務担当：研究協力・附属学校支援課 研究協力・センター機構支援グループ kenshien@

TEL 075-644-8335, 8242 FAX 075-644-8339 E-mail cert@

